

表紙写真は一の宮町坂梨の凍りついた「古閑の滝」

CONTENTS

(主な内容を紹介しています)

今号は特別 24 ページ構成!

- ◆豪雪でハウス倒壊など被害.....2
- ◆祈願祭・御用始め式／県農業功労者表彰.....3
- ◆県農業コンクール表彰者.....4・5
- ◆県野菜振興大会表彰者.....6
- ◆観光いちご園／.....7
- ◆北海道からJA阿蘇訪問.....8
- ◆家の光大会／JAバンク接客コンクール.....9
- ◆第21回JA熊本県大会.....10
- ◆県大会宣言・地域水田ビジョン説明会.....11
- ◆JA支所訪問.....12・13・14
(永水・尾ヶ石・阿蘇町東部)
- ◆「まるごと阿蘇」ブランドロゴデザイン.....15
- ◆フォト・トピックス.....16・17
- ◆家の光ちゃぐりん入賞作文.....18・19
- ◆JA阿蘇「旬な男・鮮な女」.....20
- ◆「熊本クミアイブロパン」からのお知らせ.....21
- ◆理事会・監事会報告／人事異動.....22
- ◆「JAマイカーローン」のお知らせ.....23
- ◆「地産地消かんたんクッキング」.....24

豪雪でハウス倒壊など大きな被害

1月16～17日にかけての十数年ぶりという豪雪で、JA阿蘇管内ではビニールハウスの倒壊をはじめ、積雪による影響で農業施設

や農作物に大きな被害が出ました。各営農センターによるハウス倒壊等の被害状況は下記一覧表のようになっています。



写真は産山村

ハウス倒壊の被害状況（平成16年1月19日午後1時時点）

		ハウス倒壊合計			小国郷営農センター			中部営農センター			南部営農センター		
農作物/農業施設		件数	棟数	面積(a)	件数	棟数	面積(a)	件数	棟数	面積(a)	件数	棟数	面積(a)
水	稲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
雑	穀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハウス	トマト	15	50	152.0	-	-	-	14	48	147.0	1	2	5.0
	アスパラ	4	7	18.0	-	-	-	4	7	18.0	-	-	-
	いちご	2	2	6.0	1	1	3.0	1	1	3.0	-	-	-
	花	18	51	105.0	3	10	20.0	14	40	82.0	1	1	3.0
	ほうれん草	55	162	271.0	37	79	128.3	18	83	143.0	-	-	-
	パセリ	1	3	3.0	1	3	3.0	-	-	-	-	-	-
	しいたけ	1	2	2.0	1	2	2.0	-	-	-	-	-	-
	その他	21	32	67.6	2	4	7.6	16	25	57.0	3	3	3.0
計		117	309	624.9	45	99	163.9	67	204	450.0	5	6	11.0

平成16年の平穏無事を願い

「祈願祭および御用始め式」



新年の平穏無事と五穀豊穡を願い、新たな年のスタートをはかろうと「祈願祭および御用始め式」が、1月6日午前8時半から一の宮町のJA阿蘇本所前駐車場で行われました。

式には丸山信義組合長や支所担当理事をはじめ、役員約200名が出席しました。神事後、丸山組合長が「昨年は冷夏

や長雨の影響で農作物の収量や販売高の減収となり、また農業を取り巻く環境も厳しい年であった。しかし、今年も農業を取り巻く状況が厳しいことには変わりはないので、役員が一層気持を引き締め、各担当部署においても一致団結して組合員の皆さんのために頑張ろう」と決意を述べました。

平成15年度県農業功労者に

永富美津子さん（阿蘇町）
山室 健蔵さん（白水村）



永富美津子さん(左)と潮谷知事



山室健蔵さん(写真提供 白水村役場)

20年以上農業に励み、他の模範となった。または10年以上農業団体などの指導的地位にあったなど、熊本県の農業発展に貢献した個人や団体を表彰する県農業功労者14人の表彰式

が1月14日、熊本県庁で行われました。

阿蘇からは阿蘇町の永富美津子さんと、白水村の山室健蔵さんが授賞し、潮谷義子知事から表彰状が贈られました。

JA阿蘇「まるごと阿蘇」ブランドのデザイン決まる

JA阿蘇営農部では阿蘇で生産されている農産物のブランド化、イメージアップ、消費拡大を図るための「まるごと阿蘇」のロゴマークを広く募集していましたが、この度、応募総数37点の中から入賞（採用）作品が決定しました。

ロゴマークとして採用された「金賞」は、熊本市の小原節子さんの作品で、「銀賞」には小国町の穴井善折さんの作品が選ばれました。

決定した「まるごと阿蘇」のロゴマーク（作品）は、本誌15ページに掲載しました。

県農業コンクール各部門にJA阿蘇から4組が入賞

新人王

白石豊和・恵美さん
(高森町)

自立経営

河瀬憲雄・みや子さん
(阿蘇町)

地域貢献

後藤サキさん
(長陽村)

組織

JA阿蘇産山有機農法部会
(渡辺裕文部会長)

創意開発

後藤敬喜さん
(白水村)

平成15年度熊本県農業コンクール大会の受賞者が決まり、JA阿蘇からは「自立経営部門」優良賞に河瀬憲雄・みや子さん(阿蘇町)、「組織部門」優良賞にJA阿蘇産山有機農法部会(渡辺裕文部会長)、「新人王部門」優良賞に白石豊和・恵美さん(高森町)、「創意開発部門」優良賞に後藤敬喜さん(白水村)の4組と「地域貢献賞」に後藤サキさん(長陽村)が選ばれました。

表彰式は2月17日、県庁地下会議室で行われました。表彰式の模様は次号の「JAあそだより」に掲載予定です。受賞者の皆さんのプロフィールや営農の主な内容は次ぎの通りです。

自立経営

河瀬憲雄・みや子さん

耕畜連携の資源循環型農業

水稲12ha、大豆8ha、肥育牛36頭を主に耕畜連携の資源循環型農業を行っています。肥育牛



の飼料には自家の稲わら等を与え、堆肥は田畑に還元しています。

また平成2年からは田植えや稲刈り等の作業受託も引き受けているため、自営の水稲(コシヒカリ・ひとめぼれ・あきげしき)と飼料稲と収穫時期の違う4品種を栽培して、作業が集中しないように努めています。

組織

JA阿蘇産山有機農法部会
(渡辺裕文部会長)

有機農法で酒米などを栽培

メンバーは渡辺裕文部会長を含め6人。酒造りの原料となる米(品種「五百万石」)を約16

0a、コシヒカリを180a栽培しています。もともと同農法部会は平成6年、鯉を使った無農薬・無化学肥料の米作りを目標に発足した「鯉農法部会」が母体となっています。

今年、「有機農法部会」と改称し、部会では米と酒の販売もを行い、酒造(委託製造)には産山の池山水源の水と自ら作る有機栽培米を使用。「産山村」ブランド名で日本酒と焼酎を東京や大阪方面へ出荷しています。



新人王

白石豊和・恵美さん



地域で初めて花に取り組み

県立農業大学校花卉コースの同級生であった夫妻は、学んだ技術を活かすため地域で初めて花卉栽培を始めました。品目はハウス栽培でデルフィニウム、トルコギキョウ、路地栽培でグラジオラスです。花卉のほかにも加工用ダイコン、馬鈴薯、繁殖牛などの複合経営も行っています。特に土づくりにおいては土壌分析に基づいて自家製堆肥の施肥や消毒を行うなど管理に

努めています。

白石恵美さんについては「JAあそだより（第8号）」でも紹介をしています。

創意開発

後藤敬喜さん

狭い道幅に対応の運搬台車

狭い道幅の農道や通路でも蒸気土壌消毒機などがトラクターで運べるようにと、2輪型が多かった台車を4輪にして小回りが利くように改造しました。

従来は道で旋回するためには半径10m以上が必要でしたが、新しく開発した台車は馬車の車



小回りが利くように改造された台車

輪の原理を応用することで、半径2・7mで旋回が可能となり安全で便利となりました。また、積み降ろしもトラクターの昇降装置を利用すれば、スムーズにできるようになっています。

地域貢献賞

後藤サキさん

冊子『ふるさとの味』作成

「地域貢献賞」を受賞した後藤さんは、昭和37年に村で最初の生活改善グループ「五日会」を結成しました。以後、グループ活動の推進役として貢献し、その後、次々と生活改善グループが誕生しました。グループ活動を続ける傍ら、農作業

が終わってから毎晩、農産加工の研究を行うなど常に自らの技術向上に努めてきました。平成14年には次世代に故郷の味を伝承するために、約40年にわたるグループ活動の集大成として後藤さん自らが作成した120種のレシビを基に、冊子『ふるさとの味』を作成。この冊子は村の全戸に配布され好評を得ています。



※写真および資料の一部は県阿蘇農業改良普及センター提供によるものです。

熊本県野菜振興大会功労者・団体表彰に 大津晴男さんと 中部阿蘇町イチゴ部会

大津晴男さん



中部阿蘇町イチゴ部会の皆さん

2月12日、第45回熊本県野菜振興大会（熊本県野菜生産者大会）が、生産者やJA関係者らが出席して熊本市の熊本テルサで開かれました。

大会では、主催者挨拶や来賓祝辞が述べられた後、表彰に移り、熊本県の野菜生産や振興に貢献があった個人や団体の表彰が行われました。JA阿蘇からは野菜園芸功労者として久木野村の大津晴男さんと、野菜園芸功労団体表彰として中部阿蘇町イチゴ部会（志賀謙三部会長ほか部員62名・昭和61年設立）が表彰を受けました。

表彰式後は事例発表、生産者の決意表明、大会宣言、がんばろう三唱などが行われました。

また、当日は関連行事として「熊本県野菜まつり」も開催され、会場となった熊本市の辛島公園では、新鮮な地場の野菜が消費者に配られました。

※県野菜振興大会関連の詳細な内容は次号に掲載します。

■表紙「古閑の滝」の説明

「古閑の滝」は一の宮町坂梨古閑地区にある滝です。外輪山斜面から流れ落ちる滝は、男滝（80m）と女滝（100m）の2つがあります。特に厳冬期には滝が白く凍りつき、巨大なつらは美しく荘厳な感じがします。

滝までの道順は、坂梨から国道265号を高森方面へ向かうとすぐ左手に古閑地区があり、案内の標識に従って進むと古閑の滝の駐車場（トイレ完備）に出ます。駐車場から滝まではやや急な山道を歩いて約10分です。



観光いちご狩り、ただいま、好評開園中デス。 南阿蘇のいちご狩りで、一足先に春を満喫!

南阿蘇（白水村・長陽村）のイチゴ生産農家では、1月から5月のゴールデンウィーク頃までの期間中、それぞれのイチゴ栽培園で「観光いちご狩り」を行っています。

今度の休日、一足先に春を求めて「いちご狩り」はいかがでしょう。期間中に訪れると「南阿蘇ほのぼのクーポン」などの特典も付いています。訪れる場合は、事前に電話で連絡をして行かれることをおすすめします。

下記「いちご園」では料金が「食べ放題」＝大人1,200円、子供800円。「摘み取りコース」＝100g(時価)となっています。



阿蘇いちご畑	0967-68-0552
あそ望いちご園	090-8661-3227
岩下さんちのいちご園	090-4485-8983
大桜観光いちご園	090-2096-3971
大津いちご園	090-7451-0276
白川水源いちご農園	090-7394-2480
すとりベリーないちご園	090-8763-5397
中松駅前イチゴ園	090-2080-1165
白水農園	090-5021-3054
ふれあい農園	090-2717-4478
南阿蘇トーマス農園	090-1925-1477
やっと見つけた!とっておきのイチゴ畑?	090-8397-9038
ながたに園	090-5487-3016

JA共済のパートナー



JA共済の補完商品を、
個人保険から企業保険まで
安心とまごころで
お手伝いします。

(共栄火災海上保険代理店・駐車場経営他)

〒860-0842 熊本市南千反畑町2番3号(JA熊本県会館)

熊本コープ株式会社

TEL 096-328-1285

JA熊本県会館 駐車場の御案内

お出かけの際はご利用ください。

- 営業時間
午前7時～
午後10時まで
- 収容台数
264台 (5F)
- 駐車場TEL
096-328-1287



(共栄火災海上保険代理店・駐車場経営他)

〒860-0842 熊本市南千反畑町2番3号(JA熊本県会館)

熊本コープ株式会社

TEL 096-328-1285

北海道からJ A阿蘇を訪問 = J A川上地区青年部協議会 = 青壮年部と合同研修行う

北海道のJ A川上地区青年部協議会（中田雅昭会長）の一行7名が1月28・29日、J A阿蘇を訪れJ A阿蘇青壮年部協議会（島津治彦会長）と合同の研修会や交流会を行いました。



J A川上地区青年部とJ A阿蘇青壮年部のみなさん

一行は28日、鹿本郡植木町の「グリーンセンターくまもと」を視察。翌29日、J A阿蘇で後藤安弘常務からJ A阿蘇の概要などの説明を聞いた後、盟友で一の宮町の田端秀吉さんのイ



チゴハウスを視察、その後、小国郷の物産館「びらみっと」を訪れました。
今回の交流を島津会長は「それぞれ自然条件や作目が違う北海道と熊本の2つの地域が、交流を行うことはお互いにとって大きな刺激となり、これからの農業振興にプラスとなる。今後とも機会あることに相互訪問を続けていきたい」と語っていました。



「グリーンセンターくまもと」での研修

なお、この交流会はJ A阿蘇青壮年部協議会とJ A川上地区青年部協議会が「お互いの農業技術を学び、農業の振興策等についても意見交換を行おう」と平成12年5月、友好締結書を交わし、これまで相互訪問や研修生の派遣などの活動が続けています。



熊本県家の光大会

J A阿蘇「家の光」

普及功労者表彰」受ける



家の光大会開会式



表彰を受けた丸山組合長と田中女性部長

第51回熊本県家の光大会（主催J A熊本中央会・家の光協会）が1月9日、熊本市産業文化会館大ホールで家の光購読者やJ A関係者ら約700人が出席して開かれました。

大会は「ひろげよう 元気の輪 協同の輪」をスローガンに「家の光」「ちやぐりん」「地上」等の図書のお一層の普及と活用により、組合員家族や地域住

読書感想文でJ A阿蘇から小学生2人が優良賞に輝く

家の光大会では、ちやぐりん読書感想文コンクールで優良賞に選ばれた白水村立白水小学校3年の興梶真菜ちゃん（「ヘレンケラー」とサリバン先生を読んだこと）、同じく優良賞の南小国町立市原小学校3年の下城葉月紀ちゃん（「ちやぐりん」を読んだこと）ら6人の表彰も行われました。

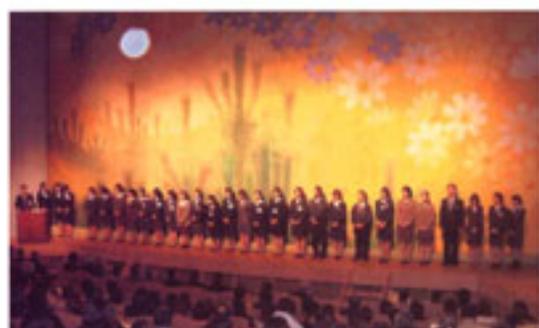
入賞した感想文は本誌18～19ページに掲載しています。

J Aバンク「窓口接客コンクール」蘇陽中央支所から出場

県内の各J A職員が窓口での対応技術を競う「J Aバンク熊本窓口ロールプレイング大会」（主催J A県信連ほか）が1月17日、下益城郡松橋町のウイングまつばせで行われました。大会にはJ A阿蘇をはじめ県内11広域J Aの地区代表11人が出場。貯金の入金や解約、電話料金の振込など来店の目的別



客の山中支所長を相手に熟演する後藤さん



大会に出場した各J A代表のみなさん

に6事例が設定され、6分の持ち時間内にいかに的確に接客ができるかを競いました。J A阿蘇からは蘇陽中央支所の後藤美香さんが客に扮した山中敬夫支所長を相手にテキパキとした窓口対応をしましたが、惜しくも入賞を逸しました。

「JA改革の断行」をスローガンに JA県大会開催（昨年12月）

各重点実施事項など採択

第21回JA熊本県大会（主催JAグループ熊本・JA熊本中央会）が昨年12月3日、熊本市の産業文化会館で開かれた。この大会は3年に1度開かれるもので、JA阿蘇をはじめ県内17のJA組合員や職員など関係者ら約750人が参加しました。



産業文化会館大ホールで開かれた開会セレモニー

大会では主催者挨拶や来賓祝辞後、議長選任が行われ、続いて議案提案・意見表明・特別決議提案（WTO農業交渉及びFTAに関する特別決議）・大会宣言など一連の議案が採択されました。その後、記念講演「JA改革の課題と基本方向（講師・今村奈良臣東大名誉教授）」が行われました。

4つの「重点実施事項」とは

「JA改革の断行」をスローガンに掲げた今大会では、実践すべき「4つの重点実施事項」として「行動計画」を策定し、すべてのJAが全力をあげて2006年度まで取り組むことが決議されました。さらに重点実施事項のうち目指すべき目標、実践する主体の責任を明確化し、各段階や組織で実績の検討を定

期的に行うことなど、徹底した進捗管理が行われることになりました。

「4つの重点実施事項」は以下の通りです。

①「安全・安心な農畜産物の提供と地域農業の振興」
「食の安全・安心確保」を基本理念に「消費者から信頼される農畜産物づくり」に取り組みとともに、JAグループの農業戦略の策定・実践を進め、「県営農生活センター（仮称）」を核とした営農指導の強化を行う。また、地域農業の担い手の育成・確保や農地の流動化をはかる農地利用調整等に取り組む。

②「組合員の負担に応える経済事業改革」
「安全・安心な国産農畜産物の提供」と「地域農業の担い手の育成・支援」を実現するためには、JAグループの経済事業システムの抜本的な改革が必要である。改革の目的は農業者・消費者に最大のメリットや満足を提供することと事業ごとの収支確立である。このため、経済事業の範囲やシステムを見直し、得意な分野に資金や人を集める「選択と集中」

を行い、戦略的提案や外部化を進める。

③「経営の健全性・高度化の取組強化」
JA経営全体の健全性・高度化への取り組みを強化するため、11JA構想の完全実施とともに、全事業の再構築や人員の再配置、自己資本の増強などを通じた経営の改善に取り組む。また経営の健全化に向けてトップ・マネジメントの強化や役員の資格要件の整備、不祥事防止のためのシステム等の導入を進めるとともに、活力ある職場づくりに取り組む。

④「人づくりによる協同活動の強化と地域の活性化」
急速な高齢化と農業人口の減少や農業者の世代交代にともない、JA運動の原点である協同意識の希薄化・JAへの求心力が低下している。そこで協同活動を担う人づくりを進め、組合員組織への加入、運営への参画を促進し、農業・環境・文化・暮らしの活性化に向けて地産地消運動や食農教育展開、高齢者対策にも取り組む。

なお、JA県大会の「大会宣言」は11ページに掲載しました。

大 会 宣 言

本日、われわれ県内のJA代表者は、第21回熊本県大会を開催し、「『農』と『共生』の世紀づくりをめざして」とともに「JA改革の断行」に向けたJAグループの取り組みを決議した。あわせて「WTO農業交渉及び自由貿易協定（FTA）に関する特別決議」を採択した。

農業・農村そしてJAグループを取り巻く環境が大きく変化するなかで、われわれは、組合員はもとより地域住民・消費者等の期待と信頼に応えていくため「JA改革の断行」を柱とした大会決議を迅速かつ着実に実践していくことをここに誓う。

とりわけ、これまでのBSE・食品偽装表示および無登録農薬問題等の発生は、国内農畜産物に対する消費者の信頼を大きく損なうこととなった。本県においても、これまでの「食の安全・安心」への取り組みが徹底していなかったことを真摯に受けとめ、今後、消費者の信頼性確保のために、JAグループの総力を挙げて、「食の安全・安心」に取り組むことを改めて誓う。

産業組合発足から100年を経過し、この間先人たちは、多くの課題に直面しながらも、相互扶助と組織の結集によりこれを克服し、今日までのJA運動の発展をはかってきた。

今後、21世紀にふさわしいJA運動の発展をはかるため、女性・担い手層の参加・参画をすすめるとともに、組合員のJAへの結集を促進し、あわせて地域住民・消費者をはじめ広く県民への開かれた組織をめざし、本大会の決議事項の実践に向けて、決意を新たに取り組む。

以上、宣言する。

平成15年12月3日
第21回JA熊本県大会

基本的取り組み等について 「地域水田農業ビジョン」説明会開く



JA阿蘇の役員を対象に、これからの水田農業のビジョン（将来への展望）実現に向けた説明会が、JA熊本中央会から担当者を迎えて12月26日、熊本市の菊南温泉観光ホテルで行われました。この「地域水田農業ビジョン」とは、①地域水田農業の改革の基本的な方向、②作物作付や販売、担い手への土地利用集積等の具体的な目標、③水田農業構造改革交付金の活用方法等ビジョン実現のための手段、④担い手の明確化など、生産者や生産者組織等がビジョン実施に向けた取り組みの必要性などが述べられました。

第8回熊本県畜産まつり入賞者（南部営農センター管轄）

- ◇肉用種牛（1部） 褐毛和種＝阪田 健男（優秀賞）
- ◇肉用種牛（2部） 褐毛和種＝山口 達志（優秀賞）
- ◇肉用種牛（3部） 褐毛和種＝高木 政夫（名誉賞）
- ◇肉用種牛（4部） 褐毛和種＝阪田 健男（優秀賞）
- ◇肉用種牛（5部） 褐毛和種＝高橋 啓（名誉賞）
- ◇肉用種牛（6部） 褐毛和種＝城井 若生（優秀賞）
- ◇肉用種牛（7部） 褐毛和種＝今村ふよ子（名誉賞3）
- ◇肉用種牛（8部） 黒毛和種＝飯星 敏（名誉賞）
- ◇肉用種牛（9部） 黒毛和種＝飯星 敏（優良賞）
- ◇肉用種牛（10部） 黒毛和種＝有働 和夫（名誉賞）
- ◇種馬（1部） 長崎 幸徳（名誉賞）

- ◇肉牛（1部） 褐毛和種＝後藤 春雄（名誉賞）
- ◇肉牛（2部） 褐毛和種＝東 洋光（名誉賞）
- ◇肉牛（3部） 褐毛和種＝産肉検定センター（名誉賞）
- ◇肉牛（4部） 褐毛和種＝津留 孝二（優秀賞）
- ◇肉牛（5部） 褐毛和種＝東 義秋（優秀賞）
- ◇肉牛（6部） 褐毛和種＝林田 直行（優秀賞）
- ◇肉牛（7部） 褐毛和種＝日置 篤徳（優秀賞）
- ◇肉牛（8部） 褐毛和種＝荒牧 弘幸（優良賞）
- ◇乾草1部（天日乾草）＝岩谷牧野組合（名誉賞）
- ◇乾草2部（天日乾草）＝下磯牧野組合（優秀賞）

J A支所訪問 (第10回)

J A阿蘇の各支所や各施設の事業内容や話題を紹介する「J A支所訪問」、今回は阿蘇町にある「永水支所・尾ヶ石支所・阿蘇町東部支所」の3支所を訪れました。

永水支所

支所長 江藤則一
〒869-2237
阿蘇町大字の石1537
☎0967-35-0011



永水支所

■支所駐車場で「朝市」が地元やドライバーに好評

「永水支所」は阿蘇町の南西部、J R豊肥本線市ノ川駅のすぐ向かい側、国道57号沿いに位置しています。熊本市方面から阿蘇路に入れば、J A阿蘇で最初の支所となります。

支所に隣接してJ A・SS永水給油所があります。

支所職員は江藤支所長を含め8名（給油所・臨時含む）で、組合員の数は正・準合わせて271名（平成15年9月現在）となっています。

支所管内（車婦・赤水・永草など）の営農は稲作・畜産（繁



永水支所職員の皆さん

殖牛）・大豆栽培などが大半を占め、支所周辺に進出している企業や事業所等が多いこともあって兼業農家が多いことが特徴となっています。

毎年7月から11月にかけての日曜日は午前7時から正午頃まで、尾ヶ石支所女性部の協力を得た「朝市」が支所駐車場で開かれ、地元の人や通りがかりのドライバー、観光客に好評を得ています。

■日頃のコミュニケーションで犯罪を未然に防止

支所の周囲には一見のどかな田園風景が広がっていますが、



永水支所窓口風景

しかし、昨年暮れ支所長および職員の気転で「おれおれ詐欺」を未然に防ぎ、大事に至らなかつたという出来事が起きました。

それは、支所窓口にある組合員の方が「今しがた息子が交通事故を起こしたと警察から電話があった。修理費200万円をすぐ振り込まなければならぬので定期をすぐ解約してくれ」と慌てた様子で来所されました。

日頃からその組合員の方とはコミュニケーションがあっただけに、不審に思った江藤支所長は「警察と名乗っている相手から」息子さんには直接連絡せんでくれ」と言われていたようですが、息子さんの携帯電話に確認連絡をしたところ、息子さんにはそのような事実は全くなく、今問題となっている「おれおれ詐欺」ということが判明しました。

そこで警察に届けるとともに当然のことながら送金を中止。事無きを済ませました。

このようなことがもし都市部の金融機関で起きていれば、事務的に処理され大事件に発展したのではないかと、関係者の間では話題となっています。

尾ヶ石支所

支所長 山内今朝重
 〒869-2235
 阿蘇町大字狩尾1456-1
 ☎0967-32-0841

■外輪山の原野を利用し 周年放牧が行われる

「尾ヶ石支所」は阿蘇町西南部に位置し、地区中央部を県道149号が赤水方面と内牧方面とを結んでいます。地区の背後には集落のすぐふもとまで阿蘇北外輪が迫っています。



尾ヶ石支所（平成14年秋撮影）

支所職員は山内支所長を含め5名です。支所管内（狩尾・跡ヶ瀬・的石等）の営農状況は、稲作や畜産（繁殖牛）が主で、特に畜産においては、外輪山に連なる広大な原野を利用しての周年放牧が行われています。また酪農も行われています。ほかに飼料作物、ハウスによるイチゴや大豆栽培なども見られています。また野菜等の栽培ではトマト・キュウリ・ハクサイ・カボチャなどがあげられます。これら野菜の一部は、女性部の手によって漬物などに加工され、朝市等にも出品されています。



尾ヶ石支所職員の皆さん

■今でも江戸時代の豊後街道や史跡が残る「尾ヶ石」

尾ヶ石は明治22年、町村制が施行された際、狩尾・跡ヶ瀬・的石の3つの大字から1字ずつをとって「尾ヶ石村」として発足。その後、昭和29年の合併で今日の阿蘇町となりました。

また、尾ヶ石地区は江戸時代には豊後街道が通っており栄えた所です。今でも「的石のお茶屋跡」など史跡として残っており、当時の面影をしのぶことができます。



尾ヶ石支所窓口風景

阿蘇町東部支所

支所長 大和政則
 〒869-2314
 阿蘇町大字小野田277
 ☎0967-32-0796



阿蘇町東部支所

■昔から穀倉地帯阿蘇を担ってきた地域

「阿蘇町東部支所」は、阿蘇町東部に位置し、一の宮町と接し、地区の北部は大観峰で有名な外輪山のふもとへと続いています。地区の中央部を一の宮町宮地と阿蘇町内牧方面とを結ぶ

県道110号が走っています。また、支所の向かい側には町道を挟んで、「中部営農センター」があります。

現在、職員は大和支所長を含め9名(臨時含む)、組合員は正・準合わせて586名となっています。

阿蘇町東部支所地域一帯(山田・黒川地区)は、昔から阿蘇の穀倉地帯として知られてきた所です。阿蘇町東部支所は昭和61年までは「阿蘇山田農協」として、その後は「阿蘇町農協山田支所」として、平成13年

の合併後においては「第一支所」と統合され「阿蘇農協阿蘇町東部支所」として、地域の組合員の皆さんと一緒に歩んできました。

現在、阿蘇町東部支所管内の作付け状況は、米が約500ha、大豆が約130ha、麦が約770haとなっています。そのほか施設園芸としてトマト、ミニトマト、メロン、キュウリ、イチゴ、花卉などの約22haとなっています。また畜産も繁殖牛、肥後牛、養豚など盛んに行われています。



阿蘇町東部支所職員の皆さん



阿蘇町東部支所窓口風景

熊本に一足早い春の訪れ「JA植木まつり」開催中

JA阿蘇など県内11JAとJA熊本経済連主催の「第29回JA植木まつり」(開園時間午前9時半〜午後5時、入場無料)が、県農業公園カントリーパークで2月23日まで開催されています。

この「植木まつり」には、庭木や花・鉢物など約120万点が出品されているほか、農機生活用品、各地域の農産物や農産加工品なども展示・販売されています。「植木まつり」では生産者が直接販売する方式であるため、確かな品をより安く安心して購入することができます。また、花や木のことで分からないことがあれば生産者に直接、いろいろなお話を聞くことができるのも「植木まつりファン」の楽しみとなっています。

JA阿蘇からもミヤマキリシマや生け垣樹、ヤマボウシ、ブルーベリー、サツマイモ、庭園など多くの出品物があり、訪れる愛好者の人気を呼んでいます。



「まるごと阿蘇」ロゴマーク





演奏も迫力も満点！こども夢運太鼓



安全・安心で新鮮な農産物も勢揃い！



「どれもみな良かカライモばい！」



里芋のほかにユズやトマトもあるよ

前号（第11号）の『JAあそだより』で、昨秋開催された「西原村ふれあいまつり」と「小国郷収穫感謝祭」の様相を掲載しましたが、紙面の都合で一部しか紹介できませんでしたので、今号に改めて掲載しました。

■西原村ふれあいまつり

西原村の農業・福祉・文化活動などの様子をもっと知り、そして参加体験する祭典「ふれあいまつり」が11月16日、西原中学校校庭をメイン会場に開かれました。

会場の特設テントでは、農産物や農産加工品の展示・即売会や、甘藷や里芋の品評会、農機具・自動車の展示などが行われました。

また特設ステージでは、こども夢運太鼓、農村談義、からいもダンサーズのパフォーマンス、西原中プラスバンド部演奏、お楽しみ抽選会など多彩なイベントが繰り広げられ、終日多くの人出がありました。



里芋の品評会も行われました。



準備万端！お客さんいつでもOKよ

■ JA 阿蘇小国郷収穫感謝祭

第5回目となる「小国郷収穫感謝祭」(主催=JA阿蘇、協賛=JA各生産部会・青壮年部・女性部)は11月23日、農協野菜集荷場を会場に開かれました。特に昨年は冷夏や長雨で農作物に大きな影響が出たため、これらの事情に配慮して例年より規模をやや縮小して行われました。当日は開会式に引き続き、和太鼓演奏、ひょっこり踊り、牧草ロール転がし競争、俵担ぎ競争、組織対抗綱引き大会、くだもの無料配布や餅投げなどがあり、「不作を吹き飛ばせ!」とばかりに大勢の人でにぎわいました。また、会場の一角では焼き鳥・カップ酒・うどん・おでんなどの販売コーナーが設けられ、餅つき大会、作業服の展示即売なども行われました。



和太鼓の演奏で不作を吹き飛ばせ!



ひょっこり踊り(皆さん素顔ではありません)



「えい、えい、おー」でオープニング鏡割り



仕事もてきばき…、
焼そばもてきばき…



「ちょうどよか具合に
焼けたごたるパイ」



牧草ロール転がし
「ヨ〜イ、ドン!」



どっちも負けるなあ、
どっちも頑張れっ!



久しぶりの餅つき、
腰の具合がちょっと…ナ



俵担ぎ競争!

ちやぐりん読書感想文

ちやぐりんから

「ヘレンケラーと

サリバン先生」を読んで

白水小3年 こうろぎ真菜



わたしは、よく妹とかるた遊びをします。その中に「へこたれずがんばりつづけたヘレンケラー」というカードがありました。わたしはヘレンケラーがいったい何をがんばったんだろうなと思いました。

J Aからちやぐりんの本をもらいました。その中に「ヘレンケラーとサリバン先生」がのっていたのでさっそく読んでみました。

ヘレンが一さい七カ月で目も見えず、口もきけず、耳も聞こえなくなってしまったことを知りびっくりしました。

わたしの学校ではこの前うん動会があったけど、もし、かけっこの時のピストルの音も聞こえなくて、走るコースも見えないならどうしたらいいのかな、ダンスはどうするのか、うん動会だけじゃなくてわたしがしているいろんなことがいつべんにむずかしくなってしまう。

そのむずかしいことをサリバン先生はひとつひとつヘレンに教えていきました。

おぼえていったヘレンもすごいけど、教えた先生もすごいなあと思います。

サリバン先生は、ヘレンがわがままをし手づかみで食べたり、人の皿に手をのぼしたりしてヘレンの手をたたいておこりました。ヘレンがスプーンを投げると力づくで何回も拾わせました。

サリバン先生はひっしだったんだろうなと思います。それからサリバン先生はヘレンにゆび文字でことばを教えました。

わたしは、どうやってことばをおぼえたのかなあ。お母さんに聞いてみました。

お母さんは、わたしが赤ちゃんのころ、いっぱい話しかけたそうです。

「はい、マンマ。」と言いながら、ごはんを食べさせていたそうです。

わたしは、ヘレンのように勉強してことばをおぼえたんじゃないけど、お母さんやお父さんがいっぱい教えてくれたんだと分かりました。

わたしが「マンマ。」とはじめてしゃべった時、お母さんはとっつもうれしかったそうです。

ヘレンがはじめて「水」とつづった時、サリバン先生もとっつもうれしかっただろうな。ヘレンが先生に「あなたはだれ。」とつづった時、なんだかわたしもうれしくなりました。

ヘレンはたくさん勉強して大学にも行きました。そして世界中の体の不自由な人のためにつくしたそうです。



興梠真菜ちゃんと
家族のみなさん

「ちやぐりんを読んで」

市原小3年 下城 葉月紀



わたしは、はじめてちやぐりんを読みました。食べ物のこと、自ぜんのこと、せんそのこと、命のこと、のうぎようのこと、ほかにも工作やマンガや物語などたくさんのがのつていて、わたしの知らないことがたくさんあってとても勉強になりました。中でもお米のこと、命のこと、自ぜんのが心にのこりました。

わたしたちが毎日食べているお米は昔からつたわってきた食べ物で、たくさん人の手でたいへんな思いをして作られていることが分かりました。また、田んぼや畑はのうさん物を作るだけでなく、わたしたち

のくらしにいろいろなやくわりをしていることが分かりました。

田んぼは、大雨の時に水をためてダムやくわりをしたり都市をこう水から守ってくれたり、夏には暑さをやわらげたり、ゆつくりとしたふうけいで気持ちをやすらかにしてくれます。だからのうぎようは自ぜんを守るのにとても大切だということが分かりました。

命の学きゆうという所でわたしたちがいつも食べている物には、すべて命があつて、それを食べて生きていることに気がつきました。

さいきんのニュースで人が人をころす悲しいじけんをやっています、わたしたちも動物の肉や魚を食べていて、同じように命をころしてしまっているのでもしなやみました。でもそれはわたしたちが生きていくのにひつようなことなので、仕方のないことだと思ひます。

毎日の食事の中で食べているものは、全部生き物であることにも気がつきました。

こんなたくさん命の命によつて生きていられるのが分かり感しやの気持ちでいっぱいになりました。そしてその食べ物わたしたちの口に入るまでにはたくさん人の力があるからだということが分

かりました。

食べ物を手に入れるのは、自ぜんを大切にしていかなければならないと思ひます。またせんそうをしてつみもない人がころされていくのはぜつたたいにゆるされないことだと思ひます。わたしはせんそうが一番命をそまつにするし、自ぜんもなくなつてしまふのでとりかえしのつかないことだと思ひます。

今、日本はへいわな国だけどもあまりにも物がたくさんあるのでせんそうをしている国の人にもうしわけないと思ひました。だから物を大切にしていこうと思ひました。

この本を読んで命の大切さがよく分かり、今わたしたちが生きていられることに、感しやすることができました。



下城葉月紀ちゃんにご両親

JAあそ「^{せん}鮮な女・^{しゅん}旬な男」(6)

JA阿蘇のフレッシュな女性と萌えている男性を紹介するこの「鮮な女・旬な男」コーナー。今回は今年成人式を迎えた西村理沙さんと、昨秋、「九州地区青年農業者会議in宮崎」でプロジェクト発表をして最優秀賞に輝き、3月に九州代表として東京の全国大会に出場する野上寛史さんの登場です。

「頼られる人になりたい♪」

西村理沙さん(昭和58年9月生まれ)
一の宮町宮地



平成14年4月から、JA阿蘇総務部経理電算課で帳票の入力などを担当している西村さん。「大変重要な仕事を担当していて緊張することもあります。先輩方からも親切に教えて頂いて、職場の雰囲気もよいので、楽しく仕事できています。でも、まだ自分でも接客が難しいと思っているので、もう少し頑張りたいと思っています」と西村さん。とにかくJAを訪れる組合員の方やお客さんとは明るく接するように心がけているそうです。趣味はスポーツ観戦。幼い頃の夢が「プロ野球の選手」だったことから、ジャイアンツの二岡智宏内野手の大ファン。成人式を迎えての抱負は「早く、頼られるような人になりたい」だそうです。



成人式の日のスナップ

「無限の可能性、農業が天職！」

野上寛史さん(昭和53年7月生まれ)
阿蘇町湯浦



現在、野上寛史さんは両親・祖父の4人で粗飼料を主とした肉用和牛50頭、稲作4ha、木イチゴ10aを営んでいます。寛史さんは平成12年に就農するまで、いわゆるフリーターとして20業種ほどの仕事を経験、その中から「やはり、可能性無限の農業が自分に一番ピッタリの天職」と、農業の道を選びました。しかし、ただ農業だけに留まっていたはいけなくて独学で木イチゴ(ブラックベリー)栽培を勉強。仲間たちの応援を得ながら平成13年5月頃から栽培を始めて、翌年夏には無農薬・無化学肥料・無添加物の「阿蘇大自然ブラックベリージャム」と命名の試作品完成に至りました。今後は木イチゴの栽培～加工～販売までを一貫していかにかスムーズに行うか、地域に貢献できるかが課題だそうです。

今年8月にはグランメッセ熊本で「第16回全国農業青年交換大会」が開催されるため、野上さんにとってそれらの準備に向けての超多忙な日々が当分は続きそうです。

※野上さんはHPを作っています。「野の上牧場」で検索すればアクセスできます。



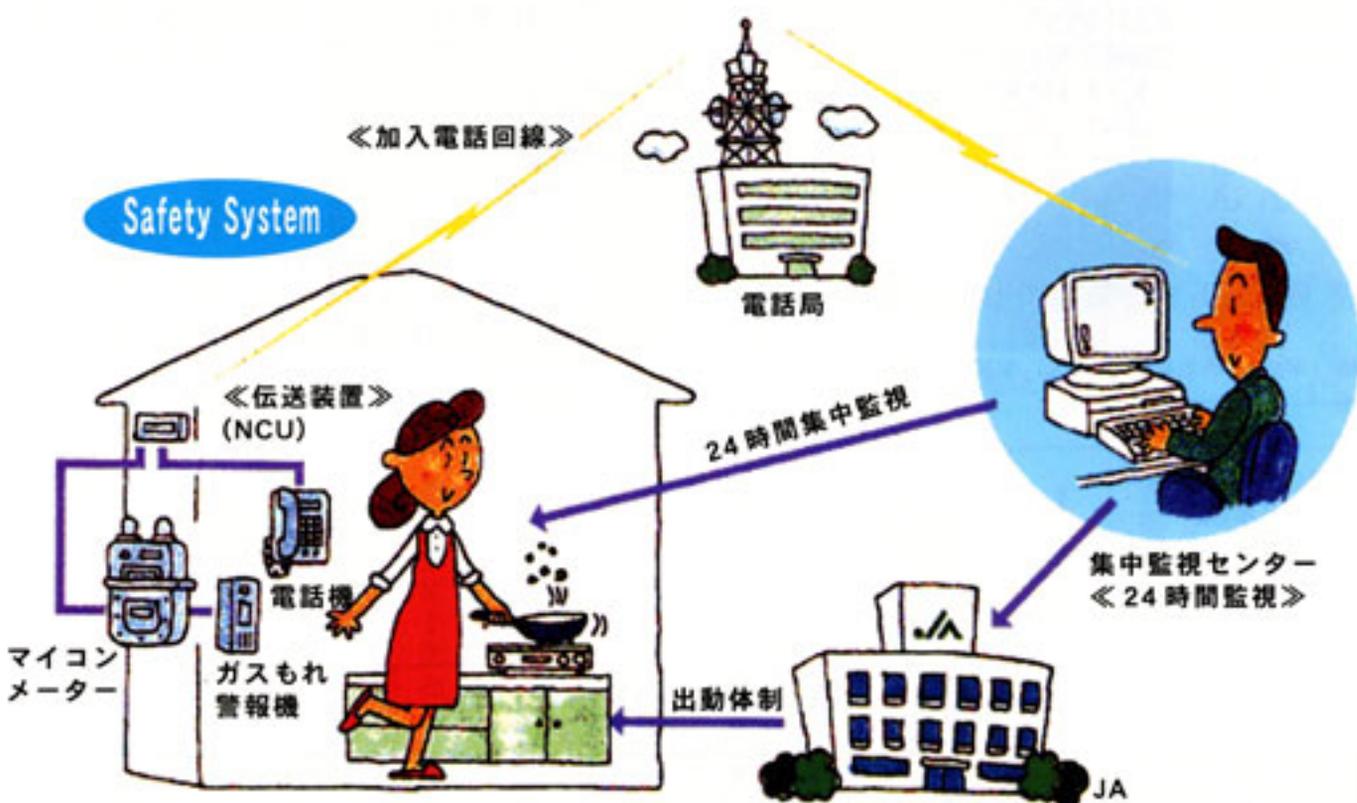


熊本クミアイプロパン株式会社



キャッチくんは安心のパートナー
24時間、LPガスの安全をみまもります。

くまもと“あんしんキャッチ24”システム(監視センター)



お問い合わせは最寄りのJA窓口へ

理事会・監事会報告

平成15年12月から平成16年2月の間に、理事会および監事会が下記の通り開催されましたので、そのご報告をいたします。

■平成15年度 第10回理事会

日時 平成15年12月26日(金) 午後1時30分
場所 菊南温泉観光ホテル会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

平成15年11月末実績について

- (1)平成15年度上半期監事監査報告について
- (2)平成15年度導入家畜等棚卸監査実施について
- (3)貸付金について
- (4)年末・年始休業について
- (5)祈願祭及び御用始め式について
- (6)支所管理規程の改正について
- (7)固定資産の取得について
- (8)選択定年に関する規程の一部改正について
- (9)常勤役員の業務体制について
- (10)その他

報告事項

- ①職員年末賞与支給率及び査定基準について
- ②臨時職員年末賞与について
- ③農林中金・県信連統合推進状況について
- ④阿蘇町堆肥センター産業廃棄物処分業許可申請更新について

■平成15年度 第11回理事会

日時 平成16年1月28日(水) 午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

平成15年12月末実績報告及び見込決算について

- (1)平成15年度上半期監事監査指摘に対する回答書について
- (2)貸付金について
- (3)資産査定要領一部改正について
- (4)その他

報告事項

- 事務リスク管理体制整備について
- 豪雪被害状況報告
- 職員業務分担について

■平成15年度 第8回監事会

日時 平成16年2月9日(月) 午後1時30分
場所 本所2階会議室

1. 開会
2. 常勤監事挨拶
3. 議題

- ①平成15年度上半期監事監査回答書について
- ②平成15年度導入家畜等棚卸監事監査報告(案)について
- ③平成15年度資産査定監査実施要領(案)について
- ④平成15年度資産査定監査実施について
- ⑤平成15年度下期米麦等棚卸監査実施要領(案)について
- ⑥平成15年度下期米麦等棚卸監査の実施について
- ⑦平成15年度決算棚卸監査実施について
- ⑧平成15年度期中監査(全国監査機構)報告について
- ⑨事務リスク管理体制整備について(金融部)
- ⑩今後の日程等について
- ⑪その他

4. 閉会

5. 研修会

- ①資産査定実施要領及び書き抜き様式集について
- ②資産査定監査手続き調書について
- ③監事監査取りまとめ調書について
- ④米麦等棚卸監査報告書(手続調書)について
- ⑤その他

6. 閉会



職員異動のお知らせ

氏名	新 辞 令	発 令 年 月 日	旧 辞 令
橋本 潤一	小国郷中央支所購買課小国給油所係	平成16年1月1日	小国郷中央支所金融共済課情報企画センター
大塚さやか	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ・ATM係)	平成16年1月15日	尾ヶ石支所金融共済係



キャンペーン実施中!

JAマイカーローン

JAのマイカーローンで
もっともっとと家族の時間。



期間限定金利

年 **1.9%**

(貸付期間5年以内)
保証料別途

●保証料率●

正組合員……………0.4%
准組合員……………0.9%

JA熊本経済連からのプレゼント

JAから自動車(新車)を購入された方に

特賞 3万円旅行クーポン券……………11名様

JA-SSP 100ℓガソリン・軽油給油券……………30名様

詳しくは最寄りのJA阿蘇各支所におたずねください。



JA阿蘇かんたん!クッキング③
久木野
「そば道場」入門

「そば打ち」から「麺」にするまで、自分で一通り体験できる「そば道場」(久木野そば研修センター)を訪ね、センター長の高田雄一さんと、「そば打ち名人」、または「そばインストラクター」とも呼べる恵良ムツヨさんの指導で「そば打ち」を体験しました。

そば道場では、来訪者の人数に応じた「そば打ちセット」が用意されており、恵良さんをはじめ5人のそば打ち名人が親切に指導してくれるので、初心者でも楽しく愉快にそば打ちが体験できます。

それでは、そば打ちのイロハを写真を交え順序を追って説明しましょう。

◇材料(4食分) そば粉360g、山芋50g
取り粉120g、水180cc

◇作り方

1. **混ぜる** (小鉢の中で、そば粉360gと摺りおろした山芋50gを混ぜ合わせます)
2. **こねる** (水を少しずつ入れ混ぜ合わせます。次に、こねながら丸い玉のようにします)



3. **延ばす** (延ばし板に取り粉をふって、丸い玉を延ばし棒で徐々に薄く(2mmほどの厚さ)なるように延ばし、満月のような円形にします)
4. **折りたたむ** (延ばしたものを幅10~15cmほどに折りたたみます)



恵良さんと高田さん

5. **切る** (そば切り包丁で幅2mm程度に切っていきます)



6. **並べる** (切ったそばをもろぶたに並べていきます)
7. **ゆでる** (鍋にたっぷりの湯を沸騰させ、そばをバラバラにほぐしながら入れてゆでます)
8. **洗う** (シンがなくなってきたら、取り出して冷水をかけて冷しながら洗います)
9. **水切り** (洗ったそばは充分に水切りをします)
10. **盛る** (器にそば麺を入れて、おろしだいこん・ネギ・鯉節などをのせて、ダシを注げば、かけそばのできあがりです)



かけそば

久木野そば研修センター
〒869-1411 阿蘇郡久木野村河陰
☎0967-67-0507
休館日=毎月第1水曜日